

ドメイン別講義テーマと講師陣(仮) 1/2

後期以降に備えて下記テーマ・講師以外にも多くの候補が待機されています。受講者のニーズ、講師の都合により見直し企業別にカスタマイズします。

ドメイン	講義	内容	講師
アート (社会、心、精神)	ものづくり日本の進化と世界への影響	日本のものづくりが果たした世界経済貢献、産業界との共同研究、回転体力学の貢献	古川勇二 職業能力開発総合大学校校長、元都立大学工学部長、東京農工大学MOT研究科長
	エコシステムとしてのマネジメント体系	ドラッカー、ミンツバーク、日本的経営に共通する社会生態系思想を学ぶ	今岡善次郎(MN21代表、法政大学・元東京農工大MOT、元多摩大学大学院教員)
	「三方良し」の近江商法とドラッカー	日本的経営の原点、近江商法の歴史とその思想、ドラッカーの原点	北村和敏(日本経営倫理士協会理事、大塚製薬工場、ドラッカー学会総合実務委員)
	日本人と日本的経営の強み	江戸時代と明治以降の日本人の比較から見る現代への強みの生かし方	石川泰弘(元横浜ゴム理事技師長、工学博士)
	インテグレーションマネジメント	現実には専門分野別に起こらない問題解決はインテグレーションが鍵	橋本忠夫(公益財団法人育志会専務理事、元多摩大学大学院研究科長、元サントリ(株)取締役、工学博士)
	歴史にみる組織・社会・技術の統合	ビジネスから社会・歴史にみる統合に言語が貢献したコミュニケーションツール	坂巻祐三(元沖電気エンタープライズカンパニー社長)
	9つのタイプで自分を知る性格心理学「エニアグラム」	生まれながらに持つタイプ別の無意識なエネルギーを知り、スムーズな人間関係を築く要因を解き明かす	橋本淳一郎プロビティコンサルティング人材育成事業部長、元富士ゼロックス総合教育研究所)
	理念がつくる「いい会社」	理念の概念、大切さに加え、どのように経営に活かしていくか事例を交えて紹介	青木篤実(「いい会社」実行委員会所属、企業理念研究家)
サイエンス (論理、頭、戦略)	楽しく働くための五段階思考法	個人の能力発揮や目標実現を妨げているメンタルブロックの発見、モチベーション向上、対処などにも役立つ思考法	大江亜紀香(コア・クリエーション代表、コーチング)
	ドラッカー・弁証法・帰納法演繹法、梅棹忠雄、川喜多二郎	正しい答えより正しい問いから現場観察を経て成果を上げるドラッカー思想と日本の知的生産技術の共通思想	今岡善次郎(MN21代表、法政大学・元東京農工大MOT、元多摩大学大学院教員)
	戦争論から導く経営戦略	孫子の兵法、ランチェスター戦略、ボイド大佐のOODA	今岡善次郎(MN21代表、法政大学・元東京農工大MOT、元多摩大学大学院教員)
	大野耐一とトヨタのイノベーション戦略	TOCやリーン生産など世界の製造システムのパラダイムシフトの原点、大野耐一の口癖	今岡善次郎(MN21代表、法政大学・元東京農工大MOT、元多摩大学大学院教員)
	TOC(制約理論)の思考プロセス	複雑性・不確定性・対立の現実を論理的思考プロセスで経営改善する	石田忠由(現在バリューネットワーク代表、日本TOC協会理事長・前職日本能率協会)
	ITとイノベーション	野中郁次郎SECIモデル、川喜多二郎・根岸博士の発想法の原理とIT活用	加藤美治(富士通、フジツウウェイ推進室)
	品質工学による経営システム設計論	品質は検査ではなく、製造現場と使用段階での状況を考慮した設計思想が必要	今岡善次郎(MN21代表、法政大学・元東京農工大MOT、元多摩大学大学院教員)
	西洋と東洋の論理統合	テトラレンマという東洋論理を読み解き、西洋論理との統合による新しい経営戦略のあり方を解説する	八木橋 英男(潜在能力活用コンサルタント株式会社M代表、元興銀システム開発部長、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント技能士)

ドメイン別講義テーマと講師陣(仮)2/2

後期以降に備えて下記テーマ・講師以外にも多くの候補が待機されています。受講者のニーズ、講師の都合により見直し企業別にカスタマイズします。

ドメイン	講義	内容	講師
クラフト (行動・身体・実戦)	5段階プロジェクトマネジメント工程	トヨタの大野耐一、CCPMのゴールドドラフト博士、W型発想法の川喜多二郎等から導く成果を上げるプロジェクトマネジメント手法	今岡善次郎(MN21代表、法政大学・元東京農工大MOT、元多摩大学大学院教員)
	ものづくり現場作業改善	金型生産リードタイム短縮、回転体の芯ブレ自動バランス装置発明まで	山本博明(オートバランサー発明者)、吉原且滋(ヨシテック)
	ITを活かしたSCM改革とイノベーションリーダーの役割	東工大ストラテジックSCMでの講演内容(～JFEスチールの挑戦～JFE統合の中で考え実行してきたことをベースにリーダーの役割を論じる)とイノベーション・リーダーの役割	菊川裕幸(元JFEシステム社長、相談役を歴任)
	地域活性化プロジェクト事例と成功法則	政官学再生エネルギー開発プロジェクト他	野地英昭(オムロン、東京農工大学講師、工学博士)
	日常業務(仕事、作業)から飛躍するプロジェクトマネジメント	事業を変革する、新規事業を行う、日常業務からの飛躍する方法論。対象が大型化・複雑化・長期化する中で、改革への課題を解決する大型プログラムマネジメントの概説	光藤昭男(PMAJ理事長、東北大学、明治大学、北陸先端科学技術大学・各大学院非常勤/兼任講師、荏原製作所元取締役常務執行役員、Tokyo-Tech-ME、MIT-MOT修了)
	ものづくり技法の活用ノウハウとやる気醸成のコツ	国内25年、海外30年の経験から得た現場カイゼンから経営戦略までの実践知とやる気醸成のコツを体系的に紹介	鈴木甫(PIIものづくり革新実践塾代表、技術士(経営工学)、国際経営コンサルタント元新日鉄)
	日本のものづくり知のすり合わせ	工場現場に社長や営業、本社管理部門、研究開発一同介して現物見て改善する	柿内幸夫(改善コンサルタント、元日産、スタンフォードMBA)
	MGとTOCスループット会計	会計維新宣言、戦略会計、MG(マネジメントゲーム)、TOC経営	相馬裕晃(戦略会計MGインストラクター)
	CCPM(クリティカルチェーンプロジェクトマネジメント)	ゴールドドラフト博士の経営思想と実践的プロジェクトマネジメント、	工藤 崇(株ビーイングTOC研究所シニアコンサルタント)、今岡善次郎
	2図4段階式財務分析法	財務分析を定型フォーム化することで誰でも容易に企業分析が可能となるメソッドの紹介	木幡幸弘(公認会計士、東京農工大学工学府産業技術専攻教授)
	ビジネスモデルに基づく知財戦略の展開	ビジネスモデルをサポートする知的財産活動を、三位一体で進めていくに当たっての具体的方法論について学ぶ	鶴見 隆((株)戦略データベース研究所代表、元旭化成知財部長、元農工大MOT教授)
	食品開発と地域再生	健康や環境を考慮して農業と食品産業の現状を観察してあるべき事業の方向性を語る	門田直明(食品事業開発コンサルタント、元高知大学客員教授、元大塚食品マネージャー)
	製品開発マネジメント	プリンター組み込みソフトウェア開発における要求開発とSEの役割分担のマネジメント	馬場 圭三(リコー IW開発本部 AP開発センター 第四開発室 室長)
	ベストインクラスのものづくり技法	QFD/TRIZ/品質工学を駆使する優良企業に学ぶ最新の設計開発の手法とプロジェクトの進め方	熊坂治(ものづくり.com管理人、山梨大学非常勤講師)
	ドラッカーと会計	ドラッカー思想の中で専門家の枠にはまりがちな会計の役割を考える	野田弘子(プロビティコンサルティング株式会社 代表 公認会計士 東大法学部卒、ドラッカー塾修了)
	企業経営の強化に向けたあたらしいTQM	ものづくり日本の基礎をつくったのはデミング博士の現場の品質管理QCから経営全体の品質管理TQC(さらに一般化してTQM)に進化した。21世紀のTQMを語る	江崎和博 法政大学 理工学部 経営システム工学科 准教授